

特集●荒川流域を知る (6)

### 【荒川もう一つの旅～六堰頭首工にて～】

荒川の水を追いかけるうちに、気がつけばそこは農業用水路の真っ只中。しかもいつしか旧利根川流路に入り込んでいた。川と農業用水路のネットワークはほぼ自然の水系。都市の拡大や管理の分断で見えなくなっていた自然の水みち。この水みちは、時には人の営みを無視して濁流が流下するみちになる。しかし多くの日は、川は用水路を通じて田に水を送り、稲のみならずさまざまな生き物たちを育ててきた。日本の自然は、自然と人間の営みで育てた自然。この水を失えば、日本の自然を失う。

水を見に行く (5) 世界水発展報告書

### 【人類のための水・生命のための水】

日本は島国。国境を越える国際河川もなく、身近な水問題の先に“世界の水問題”を見る人は少ない。しかし現在、全世界で十一億人の人々が安全な水を得ることができず、今世紀半ばには少なくとも二十億人が渇水に直面すると言われる。

日本ほか百カ国に及ぶ各国政府の支持の下、国連二十四機関が活動する「世界水アセスメント計画 (WWAP)」とはどんな組織なのか、その主要な成果物である「世界水発展報告書 (WWDR)」はどのようなものか、その準備段階から事務局に派遣され深く関わってこられた現荒川上流河川事務所長の今村能之さんに話を伺った。

### 【田で学ぶ】

見沼たんぼのほんの一角だがみんなの協働で荒地を美田に変えた。そして多くのことを学んだ。このままもっともっと関わっていきたいと思った。しかしこの活動どうもしっくりこない。外部から圧力があつたわけではない、メンバーの力不足ということでもない。その言いようのない模索の一年を報告します。